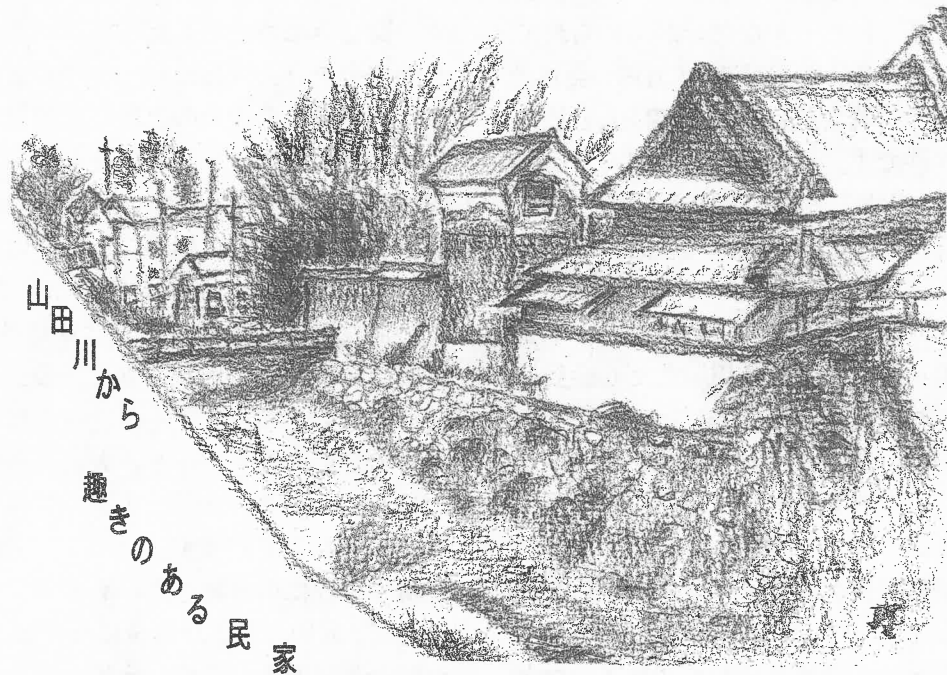


吹田の郷

発行/NPO法人すいた市民環境会議 事務局/〒564-0062大阪府吹田市垂水町3丁目8-28, 705 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 中村小夜子
会長/小田忠文 ホームページ <http://www3.big.or.jp/%7E5ssk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日 編集長/山本富雄
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)16,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便払込口座番号/00980-3-28845



目次

楽しく出発！ この一年を総括して	会長・小田忠文	……	2頁
	総会報告	事務局	…… 3頁
研修シリーズ「桜の庄兵衛奥野家」見学	まちなみ委員会	……	3頁
まだまだ続く千里丘地域の自然の変貌	浅田都司男	……	4～5頁
	満開のウツボグサを観て	生きもの委員会	…… 6頁
文化施設探訪「メイシアター、平和祈念資料室」	まちなみ委員会	……	7頁
	委員会ニュース	生活環境委員会	…… 8～9頁
地球温暖化防止のために 一人ができることは ②	会報委員会	……	10頁
文化施設探訪「岸部地区の文化財と史跡」	まちなみ委員会	……	11頁
自然と文化③ 日本の雨	秋山こずえ	……	12頁

楽しく出発

この一年を総括して

会長 小田 忠文

5月21日に今年の総会が開かれました。総会は一年間の締めくくりと、新しい一年の出発点なのです。昨年一年間に活動したことを決算と共に振り返ってみます。

昨年一年間の収入は約320万円。その内訳はまず、会費です。1997年に設立以来、すいた市民環境会議の会費は正会員も、購読会員も1000円です。「だれもが気軽に入ることができるように、吹田中の人が会員になってほしい」そんな想いが込められています。その会費収入が25.4万円。会員数は正会員、購読会員合わせて224人と法人会員が3件です。最近では会員の出入りはあるものの、数としては同じようなものです。

総会資料の中の事業収入の項をみてみましょう。

まちなみ委員会の収入は散策会の参加費です。参加費は毎回500円。ただし会員は400円です。半日、解説付きで、饅頭付きでこの金額。参加者にとっては心動く参加費ですが、説明者はみな、まちなみ委員の無償ボランティアです。

学習研修委員会はジャスコ南千里店との協働による収入です。ジャスコ・エコクラブを対象とした紙漉講座やバスツアーなどの収入です。

生活環境委員会は昨年は収入予算をあげていませんでしたが、一昨年のおおさかエコアクション(環境家計簿啓発事業)取り組みに対する収入と、昨年実施したタウンミーティング、さらに、大阪府内の小学校へエコクッキングの授業に出向いた収入などがありました。

生きもの委員会の収入は春に実施した野草試食会の参加費です。野草マップはイオン環境財団からの助成金80万円と不足分を会から出して作りました。この野草マッ

プは多くの人と、多くの時間を費やしてできあがったものです。意識されることのない野草も、身近な大切な自然であり、放っておくと消えていくものがあり、放っていても外国から入ってきて増えていくものなどいろいろあります。「身近な自然を大切に未来の子ども達に残しましょう」という想いで作ったものです。もうすぐホームページにこの野草マップを載せることができます。楽しみにお待ちください。

助成金で「大成建設(ホテル)」とあるのはヒメボタルの調査のためのもので、地中温度や気温を測るための機械を買って千里緑地内に設置してあります。今年のホテル調査は5月1日から始めて、ヒメボタルが光らなくなった6月14日で終了しました。その間に数えたホテルの光は総数約6000。毎夜の調査は西山田ヒメボタルの会、吹田自然観察会との協働ですが、西山田ヒメボタルの会に大きく依存し、大変ご苦労をおかけしています。また、ホテルの観覧者は毎年多くなっています。いつまでも、いい環境を子孫に引き継ぎたいものです。

さて、大切なことが最後になりましたが、会報の作成があります。会報の収入源はみなさまからの会費です。昨年度から2ヶ月ごとの発行になり、会報委員さんは大変な思いをしながら作っています。印刷や発送作業は理事や会員が交代でしています。作業しながら、理事会ではできない情報交換や雑談が楽しいひとときでもあります。

こんなことが、すいた市民環境会議の一年間の大きな事業とお金の動きです。いかがですか、なんだか楽しそうだと思いますか?会員の皆さまの中で「こんな活動の仲間に入りたい」と思った人は、すぐに事務局長に電話してみましょう。

＊ ＊ ＊ 「桜の庄兵衛 奥野家」見学 ＊ ＊ ＊

2005年4月20日(水) 【吹東町 大越 好子】

阪急宝塚線の岡町駅から10分ほど歩くと旧能勢街道があり、そのすぐ傍に庄屋さんだった古民家があります。長屋門をくぐると真新しい感じのなかに落ち着いた風格の建物が目のなかに飛び込んできました。この「桜の庄兵衛」宅は、江戸時代の姿のままに残されていたものを最近になって修復再生したのだそうです。家のなかには江戸時代からの古い梁や天井なども見えるように修復され、趣ある構えになっています。また、庭には大きな楠の木があり歴史のながれを物語っているように感じました。古き良きものを残しながらも、現代人にも居心地のいい空間が作り出されているようで、「また寄ってみたいなあー。」と思う素敵なおとこでした。現在はコンサートやギャラリー展が開催されています。

この後、岡町商店街に寄りましたが、お店の中に大木のある昆布屋さんを見てびっくりです。お店の方の説明によると、街道に面した神社の境内を商店街にした時、この昆布屋さんは遅れて申し込みをしたので、ケヤキの大木のある現在地しか残ってなくて、木を取り込んだ形で店を建てたのだそうです。屋根を破って突き出していました。木にとっては迷惑でしょうね。やはり大空の下ですくすくと育ってほしかったと思ってしまいました。

又、この桜塚周辺には4世紀末につくられた「前方後円墳」で、国の史跡に指定されている「大石塚古墳」・「小石塚古墳」があり、出土遺物の埴輪が隣接する伝統芸能館に陳列されていました。

今回は吹田から近いまち「豊中市」の歴史を初めて知ることができ、すばらし研修でした。



「桜の庄兵衛」長屋門

＊ ＊ ＊ 第6回通常総会報告 ＊ ＊ ＊

《事務局》

日時・場所	5月21日(土) 市民会館NPO室
出席者	21名(正会員20、購読会員1名)
委任状	67名

で成立・開催いたしました。

- ・ <議案1> から <議案6> まで、すべての議案が承認されました。
- ・ 議案承認後、以下の役員が紹介されました。

会長	小田忠文
副会長	喜田久美子
	高島耕一郎
事務局長	中村小夜子

《表紙は語る》

創刊40号。もっと愛読会員を増やし続けたいと思います。表紙も衣替えをしてイラストに変更しました。蓬田委員にペンを取っていただくことになりました。第一回目は、山田川から。

「吹田千軒・山田千軒といわれ、旧吹田村と肩をならべ、古くから大集落が営まれた歴史ある地域」この風景がいつまでも続けば…。いいですね。(Y)

<あ、ルック吹田より>

《《まだまだ続く千里丘地域の自然の変貌（続）》》

千里丘 浅田都司男

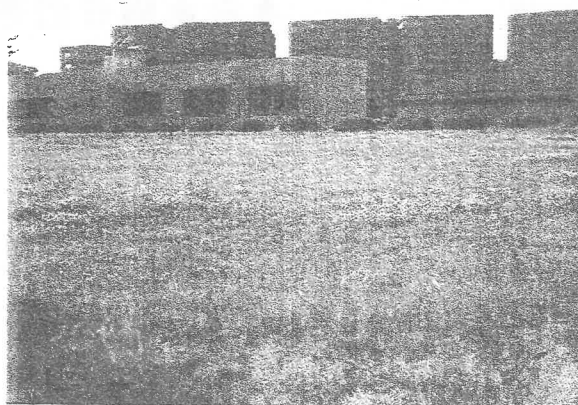
2004年9月発行の本誌（35号）でその地域の変貌についてお伝えしましたが、さらに今回その後の推移と現状につき、現地の説明板に従い追加ルポいたします。（前回と一部ダブルものもありますが、ご容赦ください）。



①「旧日本生命団地」。外見上は、9ヶ月前と殆んど同じようですが、開発計画の内容については、団地周辺の数カ所に告知され、周辺住民への説明会も何回も行われているようです。

- (a) 共同集合住宅
地上15階・12階
各1棟
計389戸
 - (b) 戸建住宅 172戸
 - (c) 小学校 1校
 - (d) 児童福祉施設と老設
各1
 - (e) キツネのいる樹林
保存されることが決定しましたが、今後のあり方が注目されます。
- 総面積 9,548,045 m²

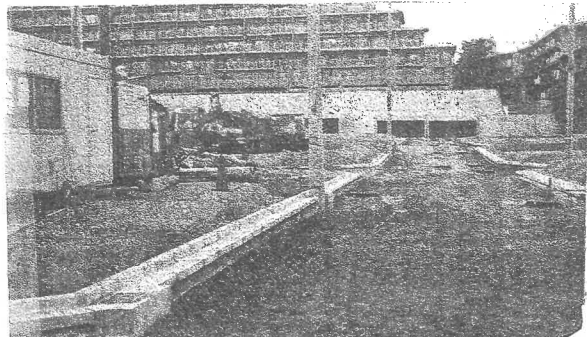
②徳洲会病院建設予定地 9階建・45m
(後方に断続して立並ぶのが昨年度建設を完了した「フォレストシティ」)



徳洲会病院建設予定地

③毎日放送テニスコート跡（手前がその一部）
に今春完成した量販店（イオン系）
「マックスバリュ」（売場面積約？m²）
右後方の高層マンションが「ユニハイム」で
今春以来北側を走るバス道路は交通量が急増した。

④「旧東洋紡績」跡地に建設進行中の戸建住宅
(総個数？ 戸面積？m²)
背景の高層住宅は、昨年完成し敷地内に発掘した温泉施設までもつマンション
「ルネシーズン千里の丘」です。



旧東洋紡績跡地建設中

毎日放送テニスコート跡



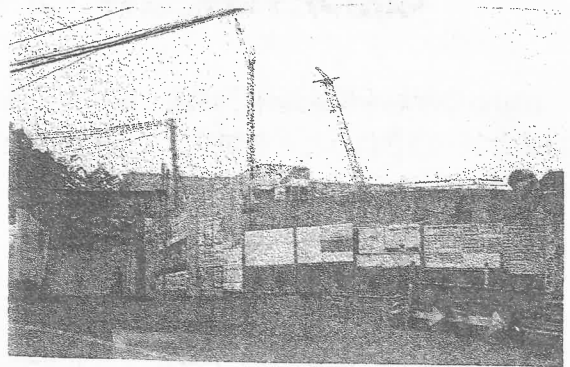
⑤三菱銀行跡地に建設中の総合プロジェクト。

内容は

- (a)有料老人ホーム 7階建1棟
- (b)高層集合住宅 15階建
- (c)戸建住宅 13棟?

旧三菱グランド内のアカマツを主体とした緑地の
景観が周辺住民に好評であっただけに、現在の
一面砂山と化した風景は痛々しい。

総開発面積は、計 40,302 m²

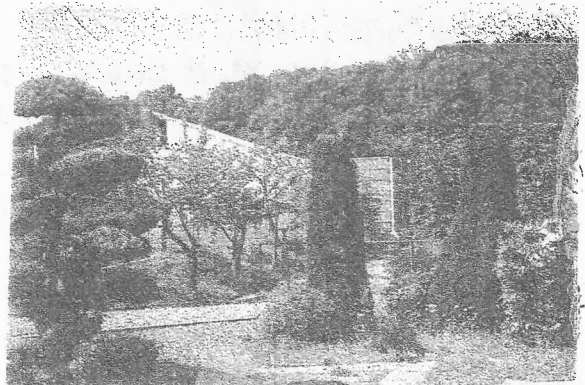


三菱銀行跡地建設工事中

- ⑥ (1) 正式な告知板が見当たらないので着工予定
や開発規模などは不明だが、「千里の湯ミ
リカスポーツセンター」(ゴルフ練習場・
プール・冬季のスケート練習場など)の点
在する千里丘の頂上部分が開発予定地と思
われる。桜の並木道など観光スポットの一つ
でもあり、企業用地とはいえ開発のあり方が
注目されます。
- (2) 南側正門付近の緑地帯の一部。写真(上)
毎年、シーズンともなれば観桜のため、
市民に無料開放される散策道や「放送文化
会館」・「放送スタジオ」などがこの向こう
の中央部にあったが、現在部分的に立入禁
止となり、撤去工事も進行中である。
写真(下)の右上部にある稲荷神社の森
にはアカマツ・サクラ・コナラ・山モモなど
が茂る。左の建物は「千里の湯」。
- (3) 桜並木の西側入口付近
右手樹林の奥方向に昨年完成した
大型高層マンション
「ルネシーズン千里の丘」がある。

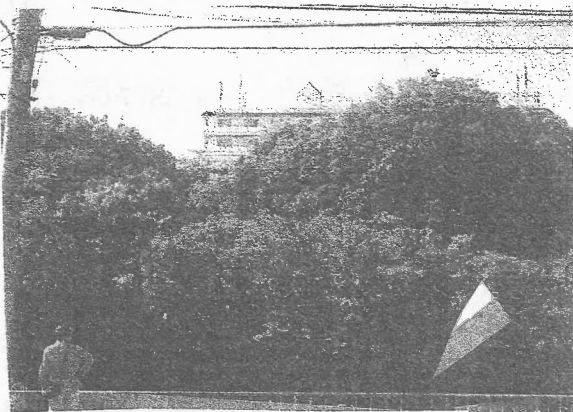


稲荷神社の森(アカマツ)



千里の湯

- ⑦松下電機保険施設「パナヒルズ大阪」のある森。
開発時期、規模、内容等は不明。
中央奥に見える建物が施設の中心部で
周辺部の緑地内にコナラ・アベマキ・
サクラ等の大木が茂り人物の立つ柵との
間に三保池があり、数年前まではゴイサギ・
ユサギ・カモなどの姿が多く見られた。



「パナヒルズ大阪」の森



桜並木

吹田の野草観察会「北千里のウツボグサ」に参加して

五月が丘北 田中 宏

青山台の阪急千里線延伸予定地の草はらで野草観察会が開催されることを知り、どんな種類のものがどんな場所に生えているかを見てみようと思参加させて頂きました。

「おそらく、北千里駅から循環器病センターにかけての、このラインに沿って、ニュータウン開発以前は川筋の低湿地で、当時の古い土が一部残っているため、今もウツボグサのような植物の群落を見ることが出来るのであろう。」との解説を聞き、なるほどと納得しました。



(6/5 最盛期のウツボグサ)

ウツボグサの花盛りの群落は見応えがあったことはいまでもありませんが、他にも数多くの植物を観察することができ、中には珍しい種も結構あって、来た甲斐がありました。既存種から直近の帰化種と思われるもの迄、いろいろ説明して頂き、またイネ科やカヤツリグサ科は特に難しく一人で図鑑を見ても分かりにくく、どうしても避けて通りがちですが、こまかく同定して頂き勉強になりました。

途中、植物が繁茂していないスポットがあり、露出した土壌を調べて見ると、大阪層群の海成粘土で酸性値が高いということでした。参加者の前でペーハーの試験をして証明して頂きました。このあたりは太古、海であったことを知り意外に思いましたが、古地図を広げていただき、大体どのへんがどうなっていたか判りました。

午前9時から正午までの短い時間で60種以上の野草を観ることが出来たし、この地域の環境も学習できて中身の濃い観察会でした。

国際化が急ピッチで進み植物の世界でも外来種がかってないスピードで増えてきていますが、既

存の植物や生態系への影響により今後どうなつてゆくのか……。

モノレール建設に伴い阪急の延長計画が中止となったそうで、一部国立病院の宿泊設備の建設工事が進められています。将来この草地もなくなってしまうのでは……。

等等ちょっと気懸りですが、先々のことは良くわからないということかもしれません。兎に角、調査と記録の積み重ねが環境保全の上でも大事なように思われました。



(6/5 観察会風景)

* 生きもの委員会 次回野草観察会の案内 *

05年第2回 千里北公園周辺

・日時 9/18(日)午前9時~12時

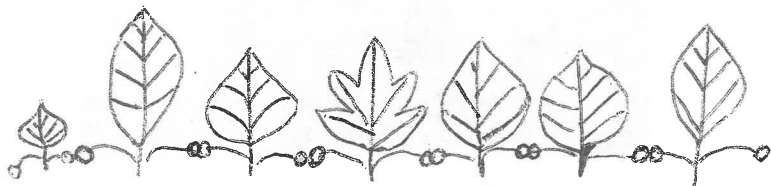
・集合 阪急北千里駅改札口

・参加費 300円(保険代を含む)

内容 2回目も北千里駅集合ですが、今回はツリガネニンジン・ワレモコウなど秋の花を求め、千里北公園(苗圃を含む)で、野草観察を行います。

昨年と同じ場所にキキョウが咲いていれば、そこを通ります。

・問合せ先 平(ヒラ)軍二 TEL06-6877-0648



♡~♡~いいでしょこの町~♡~♡

第2回 メイシアター・平和祈念資料室・アサヒビール

2005.3.12(土) 岸部北 蓬田 理恵子

4月12日、午前九時半。【メイシアター】一階ロビー集合。



事務局長のレクチャー

うららかな春の朝。お日様に背中を押されて、足取り軽く家を作る。自動ドアが開いて、ほの暗いロビーの中に入ると、天井からぶら下がっているいつものオブジェ！

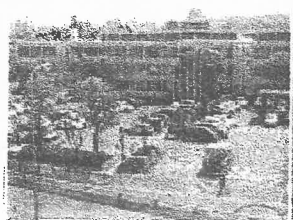
演奏会やコーラスの練習にと、ここにはしょっちゅう通い見慣れていたオブジェ達が「ひさしぶりねえ。お元気でした？」と問い掛けてくれたようで、なにやらホッとしました。鏡張りの楽屋に入る。そこでは、木下事務局長さんの巧みな語り口に引き込まれ、「吹田文化の基は、このメイシアターにあり。日本全国に誇れる文化施設の一つである。」と・・・)

メイシアター20年の歴史を伺い、ポスター展では、ここを訪れた各界著名人・芸能人を知り、多種多様・多彩で広範囲、その利用者数が延べ12,000,000人を超えた実績と、その活動の展開に驚かされました。



その後 大阪施設緑化最優秀賞を受賞した屋上に行き、「こんな庭がメイシアターにあったのか。」とびっくり。そこは建物のむこうに広がる街の景色に馴染んだ都会的でおしゃれな雰囲気庭園でした。夏の一時期開かれるビアガーデンも、きっと楽しい事でしょう。メイシアターワッフルにコーヒーでも良い気持ちになりそうです。

先立っての土曜日、映画を観に来た【平和祈念資料室】には、うららかを通り越し、暑くなった頃、到着。戦時下の細やかな日々の生活の隅々に光を当てた展示を眺めながら、他の街には類似の施設があるのだろうか？と考えていました。



屋上からの風景



平和祈念資料室内

一転して次は【アサヒビール吹田工場】です。明治中期、大阪岸和田で製造され、フランスからの技術を取り入れて積まれた、いわゆるフランス積みのレンガは、今も鮮やかな色を失わず、工場の近代的な建物群を華やかでシックに引き立てています。正面玄関向かって右側後方にスチール色したモニュメントがありました。じっと眺めていると、これは西洋の騎士の冑です。案内されて歩く工場の中も最初は印象どおりのさわやかさで、子供の頃に遊んだ青い麦畑やチクチク痛かった麦の穂を懐かしく思い出しました。



アサヒビール赤レンガ前



「騎士の冑」

帰り道は迎賓館庭園に寄る。手入れの行き届いた庭園の春は、紅枝垂れ桜が散りかけ、柳の若芽は出揃って、つつじの花芽はもう色を出しています。爛漫の春とは こんな日のことでしょうか。

人の話は聞いてみるもので、知らない所は訪ねてみるものですね。

とりわけ、日々を過ごす我が街のことは・・・

《 初参加の記 》

地球温暖化が現実のものとなっています。
ヨーロッパでは旱魃(かんばつ)が起っています。
今年も異常気象が心配。

2月の「京都議定書発効」を受け、4月、政府は「京都議定書目標達成計画」を発表しました。
その目玉が「クールビズ」。ご覧になったことあるでしょう。背広を捨て街に出ようとばかり、
各地で小泉総理のノーネクタイ、ワイシャツ姿。国会答弁ではそれでも汗だく・・・?
そのほかにもさまざまな取組みをすとかで、その予算は30億円!!
まったなしの温暖化です。本気にならないとね。

私たちもお金はないけど、やりましょう。
いままでいろいろな取組みをしてきましたが、この夏からはこの3つ!
どうぞ、ご参加ください。
企画に気軽にスタッフ参加してください。
「どうせやるならスタッフ参加が倍楽し〜」という声もありますよ。

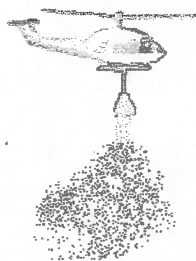
！「打ち水大作戦」

8月10日は 打ち水の日

—みんなで打ち水すれば熱帯夜も怖くない—
ヒートアイランド対策です

日時	8月10日 午後5時ころ
場所	各家庭の前の道
持ち物	バケツに風呂の残り水 ひしゃく
実施要領	自由に打ち水してください

街を冷やせ!
こんなアイデアどお?



涼しく
なったよ〜



むかし、むかし、日本人は夕方になると「打ち水」といって、
家の前の道に水をまき、
風鈴の音を聞いて、ひとときの涼を楽しみました。
その優雅な風習を楽しんでみませんか。
すいた市民環境会議は吹田市内のどこかの夏祭りで
「打ち水」のイベントをしようと計画中です。
見かけたら声をかけてくださいね。一緒に参加してください。

3. 今年もやります！「おおさかエコアクション」

「おおさかエコアクション」は、記入しやすい環境家計簿です。ぜひ、今年こそ、ご参加を！
2003年4年と続けてきて、省エネ、節水などの成果が見えました。

前年よりどれだけ減らせたでしょう (吹田市)

年度・参加者数	電気	ガス	水道	認識度
2003年 137人	-約9.5%	-約9.2%	-約5.2%	+18%
2004年 133人	+約4.8%	-約1.7%	-約7.2%	+24%

(認識度はエコライフチェックの取り組み前と後との差です)

やり方はかんたん。8月から12月までの5ヶ月間、電気・ガスなどの毎月のお知らせ(領収書)をとっておき、お渡しする「シート」に記入します。

1月中旬に市に返し、3月にコメントが記入されて、戻ってきます。

シートを受け取るだけでもできますが、ぜひ下記説明会にご参加を！

参加者説明会 7月11日(月) 14:00~ メイシアター

7月16日(土) 14:00~ 男女参画センター デュオ

2.「市民共同発電所」を作ろう!

私たちは「市民共同発電所」の立ち上げに向けて出発しました!

下記は今年のスケジュールです。

2005年度

啓発事業スケジュール

- ・ 6月～7月「おひさま広場」準備
 - ・ 7月中旬～ 「おひさま広場」実施
環境教育の実施
理解と協力を得る
- 「市民共同発電所」開設のための資金募集
屋根など施設提供者の募集
- ・ 12月中旬 講演会開催



「市民共同発電所」設立に向けて作った会です。定例会を毎月第四水曜日に行っています。勉強や、打ち合わせをしています。都合で日時、場所を変更することがありますので、「のぞいてみたい」方は下記問い合わせ先までご連絡を。

市民会議では6月初め、「市の施設に太陽光発電システムをつけてください」と吹田市と教育委員会あてに要望書を出しました。

「おひさま広場」

「太陽光発電システムを利用したおもちゃや道具で遊ぼう!」
市民共同発電所を作りましょう!

地域の祭りやイベントなどで開催
動く動く、太陽の光で動くよ!

地球温暖化ってなあに?
「くらしのチェンジ」をやってみよう!

「おひさま広場」で遊ぼう!!

「市民共同発電所」設立のために、パネルや太陽光発電で動くおもちゃなどを用意し、こどもたちと遊びます。太陽の力を実感し、おとなたちと対話しながら理解と協力を得たいと思います。

吹田市内のまつりなどイベント会場で「おひさま広場」を開催します。

どこでするかはまだ決定していませんが興味のある方はお問い合わせ下さい。

ここでするといいよ、という「場」があれば教えてください。

「おひさま広場」の費用の一部を吹田市市民公益活動促進補助金に申請したところ、6月20日交付決定通知が届きました。これでいいソーラーおもちゃが買える!

もったいないで、エネルギー。きっちり節約! 資源と家計!

これは、大阪府の「省エネライフ促進事業」で、吹田市内の4つの市民団体と吹田市が協働で行います。

★リーダーも募集します。リーダー参加は下記までご連絡を!

リーダーのやくわり: この取り組みを広め、友人・知人に参加を勧めてください。

下記・養成講座にご参加ください。

リーダー養成講座 7月22日(金) 14:00～ 市民会館

おおさかエコアクションのちらしを同封しています。

参加申し込みは直接、吹田市に電話・メール・FAXなどでおねがいします。

その際は「すいた市民環境会議です」と一言添えてください。

ご連絡・お問い合わせ先 06-6319-0630 小田(夜7時～9時)

06-6330-0305 喜田()

生ゴミを分別して土に埋める効果は……ウウウ??

会報委員 古谷啓伸

簡単に二酸化炭素を大幅に削減するには電気、ガス、灯油、ガソリンの使用量を減らせばよく、その具体的な手段は言い尽くされている。

私は台所から出る生ゴミを土に埋めて分解しているのですが、生活系焼却ゴミから生ゴミを分別した場合の二酸化炭素減量を試算してみた(事業系焼却ゴミ中の生ゴミは分別しない)。結果は、効果がほぼゼロだった。「二酸化炭素削減のために生ゴミの分別を」と意気込んで5年になるのに、今になって環境マニアの自己満足に自嘲してしまった。二酸化炭素削減に寄与できなかった一番の誤算は、生ゴミを焼却するとき石油を用いずに他の可燃ごみを燃料にしていることである。

生ゴミ堆肥化キャンペーンを読み返すと、焼却炉の負担の軽減を強調しても二酸化炭素には言及していない。次回以降は二酸化炭素削減を明確に体感できる報告にしたい。

分別した生ゴミの堆肥化の方法は『市報すいた』などにしばしば掲載されている。せっかくの機会なので、あまり知られていない体

験談3点を紹介したい。

一つめは、ボカシ肥で一次処理をしたときの腐敗臭の防止策である。砂糖を小さじ単位の量で加えてまぜると微生物が元気になって発酵が円滑に行なわれ、むしろ香りが漂う場合がある。二つめは、二次処理は土に埋めて分解を完了させるところを私はプランタン3個を並べておこなっており、マンションでもできないわけでない。プランタンは通気性があるので、分解に都合がよいように思う。三つめは、ゴミが二酸化炭素と水に変わるので土の量が増えて困ることはない。

蛇足ながら、生ゴミを分別すれば焼却量が79%まで減るので焼却時間も少なくとも79%になる。水分が減ると燃焼がはやいので70%まで短縮できるかもしれない。すなわち、焼却工場の規模が70%でよいことになる。ゴミが減れば炉の耐用年数が伸びるから、生ゴミの分別が重要な課題であることに変わりない。

最後に、環境マニア用に計算のあらすじを記しておく。計算間違いがあれば、遠慮なしにお教えいただきたい。

計算のあらすじ

焼却工場建替事業の環境影響評価条例実施の調査書から必要な情報5点を抜粋した。

①2002年の実祭の焼却処理量は生活系と事業系を合わせて128千t/年で、2015年の推定値もほぼ同量である。

②2002年の生活系焼却量は78.3千t/年と推定される。

③人口は349千人で、2002年、2015年ともほぼ同数である。

④新工場では焼却熱を利用して、年間102,000MWh発電する。(2003年の発電実績は20,745MWh)

⑤2015年のゴミ回収車の軽油使用量は推定で85kL/年

生ゴミ量：27.4千t=78.3千t×35% (生ゴミは35%含まれる。会報24号4頁参照)

生ゴミ中の水分：23.3千t=27.4千t×85% (いも類、りんご、大根、キャベツの水分は69~93%)

水の気化熱：14.4×10¹²cal=23.3千t×(80+539) (20℃の水が沸騰して蒸発する。気化熱539cal/g)

生ゴミ中の可燃物：4.11千t=27.4千t×15%

生ゴミ燃焼熱：15.4×10¹²cal=4.11千t×3,740 (炭水化物の燃焼熱は3,740cal/g)

市民一人当たりの生ゴミ発電量：55Wh/月=(15.4×10¹²-14.4×10¹²)÷859×20%÷349千人÷12ヶ月
(1Wh=3600J=859cal, 1cal=4.19J、設計では燃焼熱の20%を電気に変換)

55Whを電力会社が発電するときに排出する二酸化炭素：20g=0.055kWh×360 (計算式は前号に記述)

生ゴミを分別すると二酸化炭素が1ヶ月に20g増加する。

回収ゴミ減少率：21%=27.4千t÷128千t×100

市民1人当たりの回収車の軽油減少量：4.3mL/月=85kL×21%÷349千人÷12ヶ月

軽油4.3mLが排出する二酸化炭素：11g=0.0043L×2600 (計算式は前号に記述)

回収車の走行距離が減るので生ゴミを分別すると二酸化炭素が1ヶ月に11g減少する。

分別後の焼却量：79%=100%-21%

♡~♡~いいでしょこの町~♡~♡

第3回 岸部地区の文化財・史跡と市立博物館

2005.5.14(土) 高野台 岡村昇二

5月14日(土)、JR岸辺駅からスタート。参加人数は22人でした。コースは、岸辺駅→大光寺(聖徳太子館は国の登録文化財)→中西邸(国の登録文化財)→少路道標→亀岡街道→七尾瓦窯跡(国指定跡)→紫金山公園→[昼食]→市立博物館(秋季特別展・足とはきもの展見学)となっていました。

私は、初めて内部まで見学した大光寺の太子館について報告したいと思います。

【大光寺・太子館】

大光寺の門を入ってすぐ、右の道路際に二階建ての半ば洋風の風変わりな建物があります。それが、今日の私のお目当て、「太子館」です。二階に上げていただいて、広間で住職さんからお話をうかがいました。広間は正面に仏像、聖徳太子像などがあり、格天井には洒落た照明具が下がっていました。



◇「太子館」の中

太子館は昭和13年(1938)の建築で、本堂が宗教行事に使用されるのに対し、こちらは信徒の集会などに使われるものだそうです。当時の住職が聖徳太子を深く尊敬し、太子の像を祀り遺徳を示す絵物語を揚げたので「大使館」とよばれるようになったのだそうです。外見は法隆寺の夢殿にヒントを得たもので、一階部分は柱を塗り込んだ大壁造り、二階部分は柱が見える芯壁造りです。窓は禅宗寺院によくある花頭窓を左右対称に配置してあります。平面的には正方形で屋根は四方から葺き上げた方形(ほうぎょう)。建物全体に窓は少なく頑丈にできています。これは昭和9年に室戸台

風が近畿を襲い、家具倒壊など甚大な被害をもたらしたことにより、耐震・耐風を強く意識したことの表れだそうです。

大工は、地元の野田さん親子。お父さんは、法隆寺その他、各地の建物を徹底的に研究して未知の工法に挑戦されたそうです。息子さんの方は(今は高齢ですが)近所に住んでおられ「結婚式もこの太子館で挙げたし、葬式もここで。」との希望で、早くから予約されているそうです。



◇大光寺 「太子堂」の外観

なお、寺の創建は天文8年(1539)と記録にはあるが、現在の場所か否か、明確でないとのことでした。

鐘堂に納まっている梵鐘は、織田信長創建の安土城内・総見寺から明治初期に当寺に譲られたもので、国宝級といわれるお宝の一つです。戦時中の金属提出の際にも除外されました。

その他に以下のような所を見学しました。

【中西邸】

赤穂浪士討ち入りのロケにも使われた、長屋門は家老クラスの武家屋敷を思わせる堂々とした構えです。

【吉志部神社本殿】

拝殿まで上がって初めて見える、桃山様式の華麗な彩色の本殿は、吹田市の建物として唯一の国指定重要文化財です。

【七尾瓦窯跡】

後期難波の宮の造営に使う瓦を焼いた「吉志部瓦窯跡」平安京の宮殿造営に使う瓦も製造したのだそうです。

【市立博物館】

特別展「足とはきもの」が開催されており、複製した民族資料を履く体験ができました。

日本の雨

秋山こずえ

昨今の地球温暖化の影響か?と思われるような例年より多い日本列島への台風上陸、地域的な集中豪雨など、今まででは考えられない気象状況の中で、“雨”をとりあげるか思いあぐねましたが、世界でも有数の多雨地帯である日本には、四季折々に降る雨を生活の中に取り入れ、上手に合わせる感覚があります。今回は日本人の“雨”への思いを書いてみました。

春、3月から4月頃にしとしと降り続く雨を「春雨」といいます。この雨は、草木を芽吹かせ花の蕾をほころばせます。「春雨じゃ一濡れていこう」と歌舞伎の台詞にあります。春の雨に冷たさはありません。せつかく暖かくなって来た頃に長雨に見舞われることがあります。梅雨ほどの鬱陶しさは無く、日一日と緑を増すといわれるこの雨を「春霖(しゅんりん)」といえます。<*「霖」は長雨の意味> 桜の開花のころに降る細かい雨を「花の雨」。菜の花の咲くころに降る雨を「菜種梅雨」と呼び、「菜の花梅雨」とはいいません。油菜から菜種油を採取していた人々の生活が見えるようです。

夏、「五月雨(さみだれ)」は田植えの時期を知らせてくれます。又、麦が実るころ降る雨「麦雨(ばくう)」ともいいます。ハルゼミも鳴きます。

旧暦の五月五日の正午に降る雨は、「葉降る」といいます。竹の節に溜まった雨水を用いて製造した薬には、効力があると伝えられています。現状では到底、無理でしょうね。又、この日、雨が降れば翌年は五穀豊穡をもたらすといわれます。梅の実が熟す頃の長雨は「梅雨」、じとじと鬱陶しい日が続きます。梅雨明けが待ち遠しい季節です。これが終わると本格的な夏がやってきます。

夏の午後、一時的に強い雨が降り出す「夕立」。もうすぐ止むからと軒下で雨宿りしたことはありませんか。又、目の前が真っ白になる「白雨」を経験したことはありませんか。日照り続

きの後に降る「喜雨(きう)」「慈雨(じう)」、草木は生気を取り戻し、農家にはありがたい雨です。この頃は、雨が降る直前に、アマガエルが一斉に鳴き出します。急に振り出す夏の激しい雨「驟雨(しゅうう)」。

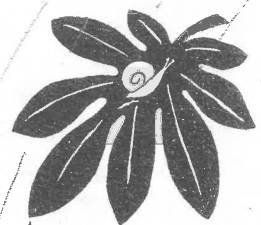
秋、富士登山が終わることに降り、登山で汚れたお山を洗う雨を「御山洗(おやまあらい)」と呼びます。「六根清浄」霊峰富士を守っていききたいですね。

小雨がじとじとと梅雨のように降り続く「秋霖」。又、「秋微雨(あきついで)」ともいいます。気をつけてください!カビが生えやすいです。

晩秋から初冬にかけて降る雨を「秋時雨(しぐれ)」男心か女心か知りませんが、降ったと思ったらまもなく止み、もう晴れています。

冬、「時雨」は急にぱらぱらと小時間降る雨で、草木が色づきます。「春時雨」も同じです。「冬の雨」12月から1月頃細く冷たい雨が降ります。音も無く静な雨の中ストーブにのせたやかんの煮えたぎる音が、やけに大きく聞こえる瞬間です。「寒の雨」寒の入り九日目に降る雨を「寒九の雨」といい豊年の兆しとされています。

その他「狐の嫁入り」「篠つく雨」「卯の花腐し」などまだまだあります。今降っている雨を知ると「雨」も満更ではないと思いませんか。自然が生活の時計であった先達は、私たちが忘れてしまった自然界と上手に付き合っていたのですね。



《編集後記》

まだ肌寒かった3月初め「吹田版七草の調査報告」と「野草マップ」をいただいた。少し時期を逸したが、改めて目を通す。30数ページにも上る報告書とマップは単なる「報告書」ではないようだ。「吹田の自然環境への警告」のような感じがする。分かり易いものに書き替えて、これからの吹田を託す子供たちの総合学習などの教材にしてはどうだろう。[地球規模での温暖化防止も、こんな一歩から始まる]ことに気付いてくれるように・・・

(編集長)

